

## 平成28年第1回多文化共生を進める団体交流会 議事概要

日時：平成28年5月24日（火）

午後7時～8時40分

場所：名古屋国際センター第一研修室

### 1 プランに関する質問・意見

- ・現在名古屋市が行っている通訳サービスを教えてほしい。  
→NICのトリオフォン、中区・港区の通訳配置、子ども青少年局のDV相談がある。
- ・通訳サービスについて、先進事例である横浜市などの取り組みをなぜ参考にしないのか。  
→通訳派遣システムを運用するために、NPOなどの団体は200万円を負担して登録している。負担が非常に大きいため、あまりよい取り組みとは言えない。
- ・兵庫県のDV相談の通訳は、NPOからの派遣。
- ・人権問題についてどこに相談すればよいかなど、子どもの頃から教育が必要。
- ・行政の広報紙について、多言語化すべき。小牧市はすでに実施している。
- ・小牧市は外国人児童生徒教育連絡協議会を立ち上げ、外国人児童生徒の情報交換を行っている。教員は職務として参加している。名古屋市もこのような取り組みを行うべきではないか。
- ・NPOとの連携なしに、プランの実施はありえない。行政だけではとても無理。
- ・施策体系3の「すべての市民の権利が保障され・・・」とある。この表現にするなら、外国人の地方参政権も保証すべき。

### 2 交流会の運営に関する意見

- ・テーマが広すぎて効果的な話し合いができていない。  
→1回目の交流会は現プランの評価と「施策方針と基本施策の体系」について話し合った。次回以降のテーマについてもこの交流会メンバーで話し合って決めていくことになっている。
- 6月は「防災」について、7月は「子どもの教育」をテーマに議論することとなった。
- ・行政からは国際交流課だけが参加しているが、各施策の担当部署にも参加してもらわないと何も変わらないのではないかと。  
→次回以降は具体的な施策の話になってくるため、担当部署にも参加を呼びかける。